

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)


様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	手術前日 (入院日)	当日(術前)	当日(術後)
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、 苦痛が最小限となる		○創部からの多量の出血がない ○悪心、嘔吐がない ○腸蠕動音が聴取できる ○血栓・塞栓症状がない ○早期離床の必要性を理解できる ○感染徴候がない ○疼痛が薬剤の使用により自制内で経過できる
検査	・身長、体重測定		採血 採尿
食事	・夕食後絶食、 ・21時以後の飲水は麻酔科の指示	絶飲食	昼食から流動食開始
	朝食は 自宅で		
処置・観察	・リストバンドを装着 します(退院日まで)  ・弾性ストッキングの サイズを測定し、お渡し します  夕食後に浣腸をします	午前中に診察があります ・点滴の針を挿入します  時間になれば看護師が 手術室にご案内します	手術後以下の挿入物装着物 があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後、抜去します ・尿道カテーテル → 歩行でき、医師の許可が あれば抜去します  ・創の管(必要時) →  創部を観察、必要時 処置を行います
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	午後の手術でOS-1の 指示のない方は午前中 から点滴があります	以下の点滴を 行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 →	
行動・リハビリ	シャワーができます	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	午前中 全身清拭し手術着から パジャマに着替えます
	制限ありません	翌朝までベッド上安静 です <b>*膝の曲げ伸ばし、足首の運動 は行ってください</b>	座位ができます  可能なら午前より 歩行できます
説明	医師・麻酔科医より(外来または入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について  病棟・手術室看護師より ・入院生活について(患者用パス使用) ・手術について ・手術室持参物確認(テープ式オムツ・ナプキン)  薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について  ※マニキュアをとり、爪は短く切ってください 指輪も外してください	医師より ・手術結果について  看護師より ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・早期離床について	

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日						
経過	術後 2 日目		術後 3 日目		術後 4 日目		術後 5 日目		術後 6 日目 (退院日)		
目標	<input type="checkbox"/> 排ガスがある <input type="checkbox"/> 早期離床ができる <input type="checkbox"/> 感染徴候がない		<input type="checkbox"/> 排便がある <input type="checkbox"/> 感染徴候がない						<input type="checkbox"/> 退院後の生活上の 注意点が理解できる		
検査			 採血								
食事	朝から全粥開始		朝から常食開始								
											
処置・観察	以下の挿入物 装着物があります ・創の管 → 医師により状況を見て術後 2 ~ 4 日目で 抜去します						 診察があります		退院時にリストバンド を外します		
	 創部を観察、必要時処置を行います										
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります											
点滴・内服											
行動・リハビリ			 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります)								
	 腹部に管のある方は全身清拭・洗髪をします										
 制限はありません								 朝食後退院です			
説明							 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について				
						 看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)					

